

理科・環境教育助成 成果報告書

第3回 期間：2005年11月～2006年10月

氏名：大浦 哲史

所属：直方市立植木中学校

課題名：総合的な学習「環境問題を考える」

1. 課題の主旨

子どもたちに、路上や河川に散らばったゴミの問題や、地球規模の温暖化、砂漠化、オゾン層の破壊、森林破壊など様々な環境問題に関心を持たせ、これからの地球の自然環境を守る担い手となり得る態度を育成する。

(以上の目的を達成するための当初予定していた課題「地域の自然環境調査による環境教育の推進」から本課題へ変更したことを、ご報告申し上げます)

2. 活動状況

本助成によって行えた発表部分の活動は、その前後のとりくみの中で意味をもつものであるので、前段のとりくみから報告させていただきます。

(ア) インターロッキングのとりくみ 9月15日～9月27日

全校生徒で、約2週間をかけて、中庭に約6300個のブロックを使ってインターロッキングを行いました。

都市ゴミから作られたスラグという材料を50%以上使ったブロックが近隣の町の工場で作られていました。自分たちで行える環境保護のとりくみの一つとして、このブロックを利用し、全校生徒が憩える中庭を整備しました。

(イ) 北九州エコタウン見学 10月17日

第2学年生徒58名全員で、北九州エコタウンを見学しました。

(見学行程)

風力発電施設→白島展示館→北九州エコタウンセンター(生活の中の環境保護についての講義→廃木→廃プラスチック→空き缶・ペットボトル処理工場→家電製品解体工場)

様々な環境保護のあり方についての学習と、実際のリサイクル工場や処理工場の見学、環境保護の必要性和自分たちの生活への課題を感じとっていました。

(ウ) 全校合唱のとりくみ (インターロッキング以降、通年毎日)

右の写真のように、自分たちが協力し合って作り上げたインターロッキングの上で、今でも毎日全校生徒が合唱をしています。

(エ) 総合的な学習「環境問題を考える」(11月9日～2月1日)

環境問題・エネルギー問題について、大まかな内容ごとに希望者を募り、それぞれの内容ごとに班分けして、学習を展開しました。

(各班の学習内容) 地球温暖化、砂漠化、オゾン層破壊、酸性雨、ダイオキシン、ゴミ処理問題、

石油の害と解決策、エネルギー問題、プルサーマル、未来のエネルギー

(オ) 環境問題・エネルギー問題学習発表会（2月1日）

前述の班ごとで調べたことを学年全体場で報告しました。その結果を次項（3. 結果）で述べます。

(カ) 新入生体験入学（2月3日）

新入生の中学校体験授業として、理科授業を行い、その中で環境問題の啓発（森林破壊について）のための内容を盛り込みました。NASA World Wind を使って、現在の日本列島の衛星写真を見ながら、森林破壊の進み具合を観察させ、興味と驚きを感じさせることとなりました。

(キ) 花植え（6月13日、11月22日）

身近な自然環境の整備として、通学路の道路わきの花壇に全校生徒で花植えを行いました。直接の自然環境保護の活動ではないが、子どもたちが自分の手で行った環境美化の運動として、環境保護の精神の啓発につながることになりました。

(ク) 地域清掃活動（9月26日）

本校校区地域の道路わきになどに散乱する空き缶ゴミやお菓子の袋ゴミなどを全校生徒で手分けして回収しました。

3. 結果

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1 自分たちの班のテーマに沿った学習を深めることができた。2 表現する態度や技術を高めることができた。3 他の班の報告を聞くことにより、環境問題やエネルギー問題について知識を広げ、考えるきっかけをつかむことができた。4 活動の目的や意味をよくとらえ、積極的に取り組むことができた。 |
|---|

4. 今後の課題と発展

<p>環境問題やエネルギー問題についての学習が子どもたちをどのように変容させたかについては、最終的に子どもたちが社会人となったときの姿によって検証されるものでなければなりません。そのような社会人を作るためのとりくみとしての環境問題の学習は、理科教師のみでなく、全教職員で取り組むべきものであると考えます。したがって、学年で取り組む総合学習や全校生徒で取り組む活動に盛り込むことが効果的であると考え、このような年間の活動となりました。さらに、理科教育との連動は不可欠と考え、機会をとらえ、現在の地球環境に目を向けるための理科教室での設備の充実を図りました。</p>

5. 発表論文、投稿記事及び当財団へのご意見など

本助成により、本校の環境教育が円滑に進んできたこと、これから進んでいくきっかけを戴いたことを心から感謝申し上げます。助成による整備以前に実施した活動は理科教育以外の備品を使用しましたが、その有効性からは是非理科室に設備を整備し、今後ずっと使用できるものにしたいという点から、予算内で可能なスマートボードを探し、整備させていただくことにしました。予算執行が遅くなりましたこと、どうぞご容赦ください。重ねて御礼申し上げます。